

## 平成28年度 事業報告書概要

### 1. はじめに

平成28年度の我が国経済は、一部に改善の遅れがみられたが、緩やかな回復基調が続いた。

一方、世界経済は一部に弱さがみられたものの、全体としては緩やかに回復したが、アメリカの金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感の高まりによる影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があるとした。

こうした中で平成28年度の当工業会の事業としては、1)国際展示会の開催に関する事業（JIAM2016 OSAKAの開催について）、2)家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進（家庭用ミシン事業）、3)工業会活動の活性化及び効率化の推進、4)知的財産権保護対策の推進（使用技術の普及及び啓発に関する事業）等を行うとともに、業界の発展に係わる諸課題の克服に向け会員への支援に取り組んだ。

### 2. 活動概要

#### 1) 国際展示会の開催に関する事業

当業界及び当業界が拘わる繊維業界の活性化と発展を期して「国際アパレル機器&繊維産業見本市（JIAM2016 OSAKA）」を開催した。また、次回JIAMの開催について検討を行った。

#### (1) 「国際アパレル機器&繊維産業見本市（JIAM2016 OSAKA）」の開催概要

##### ①テーマ：－革新的ソリューションと高度加工技術－

Innovative Solutions & Advanced Processing Technology

②会 期：2016年4月6日（水）～9日（土）〈4日間〉 10:00～17:00（但し、最終日は16:00まで）

③会 場：インテックス大阪 2・3・4・5号館

④主 催：一般社団法人日本縫製機械工業会（JASMA）

⑤特別開催協力：一般財団法人 大阪国際経済振興センター（INTEX OSAKA）

#### a) 出展者の状況（共同出展者を含む）

内訳	日 本						海 外				合 計	
	出展者		プレス		テーマゾーン		出展者		プレス			
	者数	小間数	者数	小間数	者数	小間数	者数	小間数	者数	小間数	者数	小間数
出展合計	152	1005.4	10	10	18	35	75	224.9	3	2.5	258	1277.8
前回比 (%)	114.3	131.9	83.3	83.3	—	42.7	133.9	135.0	50.0	41.7	124.6	124.2

#### b) 来場者の状況

（単位：人）

JIAM2016 OSAKA			
月 日	天 候	来場者数 (内海外)	登録者数 (内海外)
4月6日 (水)	晴れ	3,535 (1,425)	3,535 (1,425)
4月7日 (木)	雨	4,124 (1,465)	3,193 (749)
4月8日 (金)	晴れ	4,252 (595)	3,640 (253)
4月9日 (土)	晴れ	3,346 (182)	2,984 (62)
総合計 (Total)		15,257 (3,667)	13,352 (2,489)

#### (2) 次回のJIAM2020について

①次回のJIAM2020については、JIAM2016の反省点や縫製産業を取り巻く状況を見据えて、ア) JIAM2016で進めた繊維産業全般に亘る関連業界との連携・融合を図る、イ) 日本及び世界の先端技術やソリューションの紹介と新製品の発表の場とする、ウ) 他の見本市との同時開催による効果を図る、エ)

日本、アジアを中心とした世界市場を来場対象とする、収支を踏まえた主催者企画を行う、等を十分考慮して、JIAM2020開催時期の問題等について、基本方針を決めるための検討会を開催した。

- ②平成29年1月13日（金）の正副会長会議において、JIAM2020実行委員長に美馬副会長（ペガサスミシン製造㈱）を決定するとともに、検討会の結果を基にJIAM2020の概要は次ぎのとおり決定した。
  - a)開催時期：2020年5月20日（水）～23日（土）（搬入・搬出期間：5月17日（日）～23日（土））
  - b)開催場所：インテックス大阪
  - c)展示規模：4号館・5号館・6号館A/B（Aは半館）
- ③平成29年3月22日（水）に東海大学校友会館（東京都）で第1回JIAM2020実行委員会を開催し、3名の副委員長を選任し、JIAM2020開催テーマ、併催展等を中心に検討を行った。
- ④平成29年3月24日（金）、25日（土）に開催された2017大阪ミシンショー会期中に、JASMAブースでJIAM2020等の普及、啓発のための広報活動を実施した。

## 2) 家庭用ミシン事業

ユーザーニーズが「画一性から個性化へ」と移行しつつある環境に応え、ホームソーイングへの親しみの場を設け、家庭用ミシン市場の活性化に努めるとともに、健全な市場の拡大を図るため以下の事業を実施した。

### (1) ソーイングの普及促進について

平成28年度公益目的支出計画の継続事業として、ソーイングの普及促進について検討した結果、下記の内容を進めることとした。

#### ①第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

次世代を担う若い世代に、家庭用ミシンを使って、創造性豊かな作品を作る機会を提供し、「手作りの喜び」「ソーイングの楽しさ」を体験する中で、ホームソーイングの利用拡大に努めることを目的とし、第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業を実施した。更に、平成28年度公益目的支出計画の継続事業（家庭用ミシン事業）として、引き続き内容の検討を行った。

##### a) 作品の応募状況

○応募作品点数	合計	4,478点（前回比 104.6%）
○応募校数	合計	632校（前回比 106.8%）

##### b) 審査経過

###### ○第一次審査

日 時：平成28年12月6日（火）～7日（水） 東京都内

###### ○第二次審査

日 時：平成28年12月17日（土） 東京都内

###### ○審査結果

作品賞、学校賞、入選作品一覧は、JASMAホームページ「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」に掲載。

##### c) 表彰式等

結果発表は平成29年2月24日（金）に報道関係へニュースリリースを発表し、入選作品表彰式

#### ②「ミシンの日」の事業

平成28年度以降のミシンの日のPRに関する事業等について、関係者と意見交換を行った。

#### ③2016日本ホビーショーへの出展

会期：平成28年4月28日（木）～30日（土） 10：00～18：00（最終日は17：00）

会場：東京国際展示場（東京ビッグサイト）

内容：第36回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール優秀作品の展示及び会員メーカー6社によるソーイング体験コーナー実施等

## (2) 市場の活性化について

- ①流通の適性化を図るため、毎年4月1日現在及び10月1日現在の現行販売機種、新機種、廃機種を把握し、一覧表にまとめ流通団体等に通知することとしており、平成28年4月1日現在及び10月1日現在の一覧表を作成し通知した。
- ②市場ニーズに的確に対処するため、2016年1月～3月分及び4月～6月分、7月～9月分、10月～12月分の国内販売機種について価格帯別の流通調査を実施し、調査結果を関係会員へ配布した。
- ③家庭用ミシン流通市場等に関する「縫製機械技能検定試験」の課題等について、全国ミシン商工業協同組合連合会と調整した。
- ④消費者及び地方公共団体、消費生活センター等からの問い合わせ、ミシンに関する各種の相談、照会に対処した。

## 3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進

工業会と会員の発展のためその活動を広く周知させるとともに、工業会活動のさらなる活性化を図り且つその効率化を推進するため、以下の事業を実施した。また、理事会の活性化等基本的な内容を検討した。

### (1) 広報活動について

- ①政府が公表する各種統計を整備して、JASMA統計（ミシンの生産・輸出入）として、平成28年分を毎月発行するとともに、工業会の事業活動をはじめ関係諸機関の動向を取りまとめたニュースレターを毎月発行した。
- ②外部に対して工業会の活動等を広報するため、JASMA会報を年4回発行するとともに、インターネットホームページの更新・充実に努め、工業会の事業活動等について広く広報を行った。
- ③関係諸機関並びに公共団体等が公表する調査結果等を収集し、各種の資料等について会員に情報として提供した。
- ④「工業会概要」（日本語版・英語版）を作成し、企業及び関係者に向けた広報活動を行った。

### (2) 内外関係機関等との交流及び協力に関する事業

- ①関係機関・団体との連絡協調について  
経済産業省並びに関係官公庁からの依頼による調査の実施、繊維関係団体との情報共有、資料の交換等を実施した。更に、当工業会が会員として加入している関係団体との協力関係の継続を図った。
- ②軽機械センターの運営に関する協力について  
海外との交流、市場動向フォロー等の事業を進めるため、その一環として軽機械センター（ベルギー・ブリュッセルセンター及び中国・北京センター）の運営に協力するとともに、技術動向等に関する情報を収集し、会員へ提供した。
- ③海外関係機関との交流及び協力について
  - a) 四地域連絡会議（Four Associations Liaison Conference・JIAM2016会期中）  
日 時：2016年4月7日（木）8：15～9：30  
場 所：ハイアットリージェンシー大阪 2階「ルビー」  
概 要：日独米中の各団体から市場の状況と主催する見本市について意見交換が行われた。
  - b) Texprocess 2017出展企業（中小会員等）を募集し、6小間（4企業）から申し込みを受けた。出展に向けて出展企業と連携を図った。
  - c) 平成29年2月9日（木）から13日（月）にカンボジア進出日系企業3社を視察及びJETRO専門家とのヒヤリングを行い、企業立地の実状等について市場調査を行った。

### (3) 工業会活動の効率化の推進（工業会の収支バランスの回復に向けた対応）

- ①工業会活動の改革・見直しについて
- ②会員の負担軽減の検討について
- ③平成28年度の正会員と賛助会員の会社概要調査結果の取りまとめを行った。

#### (4) 工業会活動の確実な実施

##### ①公益法人制度改革への対応等について

平成27年度公益目的支出計画実施報告書を提出し、平成28年度公益目的支出計画の継続 3事業（家庭用ミシン事業、統計・調査事業、特別出展事業）の内容について検討した。

##### ②「縫製機械整備作業」技能検定試験制度の取り組みについて

「縫製機械技能整備作業」技能検定試験の受検者数の減少に伴い、平成28年度に「縫製機械整備職種」は統廃合の検討対象となったため、関係業界を含めて受検者増を図った結果、本年度の受検申し込み数は基準を超えたため、「縫製機械整備職種」は隔年実施で存続となった。このため、次回（平成30年度）の技能検定試験に向けて、家庭用ミシンは3社6機種、工業用ミシンは2社2機種を試験対象機種に加えるための検討を開始した。

##### ③生産性向上設備投資促進税制について

平成28年度は縫製機械等を対象とした証明書を403件発行した。

##### ④中小企業等経営強化法に関する証明書の発行について

中小企業等経営強化法の固定資産税の軽減措置として、平成28年8月より縫製機械等を対象とした証明書を289件発行した。

##### ⑤JASMAセミナーの開催

会員の要望、ニーズ等を踏まえ、話題性が高く注目を集めているIoTに関する下記のセミナーを開催した。

###### a) 第1回

日 時：平成28年12月2日（金） 14：30～16：30

場 所：航空会館

講 師：久保 智彰氏（ロボット革命イニシアティブ協議会事務局長）

概 要：「IoT（Internet of Things＝モノのインターネット）による製造ビジネス変革」の重要性、企業における具体的な取組事例の説明が行われた。参加者は事務局を含め23名であった。

###### b) 第2回

日 時：平成29年2月24日（金） 14：30～16：30

場 所：航空会館

講 師：小林 正孝氏（経済産業省商務情報政策局情報経済課 課長補佐）

概 要：製造業が今後求められる「IoT、BD（ビッグデータ）、人口知能（AI）、ロボットを始めとした新たな技術変革について、行政の取り組み、具体的な事例等を基に説明が行われた。参加者は事務局を含め15名であった。

#### (5) 正会員、賛助会員の充実

JIAM2016 OSAKAの出展勧誘や生産性向上設備促進税制の申請受付等に際して、工業会活動内容やメリットを広報し会員獲得に向けた取り組みを行った。

#### 4) 使用技術の普及及び啓発に関する事業

##### (1) 知的財産権保護対策について

海外製品による知的財産権侵害品の流通実態の把握に努め、適切な対応を行い市場の健全な発展を図るため、以下の事業を行った。

①政府関係機関の日本貿易振興機構（北京センター、上海センター、ソウルセンター）等の情報を入手し、随時、会員企業へ提供した。

②全世界を対象にした海外製品による模倣品の定期的模倣実態調査を行った。

a) 侵害件数 144件

b) 権利別侵害数

ア) 意匠権 1件

イ) 特許権 0件

- ウ) 商標権 133件
- エ) 著作権 9件
- カ) その他 1件

c) 発見国・地域別件数 (延べ数)

- ア) 中国 137件、 イ) インド 2件、 ウ) メキシコ 1件、 エ) イラン 1件、
- カ) ロシア 1件、 キ) イギリス 2件、 ク) ドイツ 1件

③ 中国における知的財産権侵害行為に対して、日本貿易振興機構（北京センター）から情報を収集した。

④ 「国際知的財産保護フォーラム・第3プロジェクト」の会合へ参加し、関係団体等と情報を交換した。

- (2) 電気用品安全法の技術基準体系の見直しに対応するため、他団体の分科会に参加し情報を収集した。
- (3) 内外の環境規制に関する情報を収集した。

## 5) 生産、流通等に係る調査及び企画の立案・推進に関する事業

### (1) 調査事業について

#### ① 海外調査

日本貿易振興機構及び軽機械センター（ブリュッセル、北京）等との連携を図り、主要国の需要動向、経済動向等について情報の収集に努め、会員へ提供した。

#### ② 国内調査

国が公表する政策、生産、国内流通、輸出入統計並びに諸団体が実施する諸統計資料等を収集整理分析し、「JASMA統計」「ニューズレター」等により会員等の参考に供した。また、関係当局からの諮問あるいは関連団体、他業界からの照会等に対処した。

### (2) 統計事業について

① 平成28年度公益目的支出計画の継続事業（統計・調査事業）として、ミシンに関する経済産業省の生産動態統計及び財務省貿易統計を毎月入手し、整理・分析を行い、定期的に会員へ提供するとともに、一般に対してホームページで公表した。

② 家庭用ミシン、工業用ミシン及び部品について、生産、輸出入に関する工業会統計を作成した（四半期・半期）。更に生産基地の海外移転が進展している実態を踏まえて、家庭用ミシン及び工業用ミシンについて海外生産統計を整備し会員に提供した。

### (3) 需要見通しの策定について

内外の経済動向、市場環境、在庫等を勘案し、平成29年（1月～12月）の需要見通しを策定した。

### (4) 工業用ミシン・部品・関連機器事業について

情報社会、環境社会及びグローバル化の進展に對し的確に対応し、市場の活性化に努めるとともに、業界の健全な発展を図るため、以下の事業を実施した。

① 国内及び海外市場について、日本機械工業連合会から週報等を定期的に収集するとともに、日本貿易振興機構及び軽機械センター（北京、ブリュッセル）から海外情報を収集し、定期的に会員へ提供した。

② グローバリゼーション化に対応し国際化に向けて対応するため、日本機械工業連合会の機械安全標準化に関する国際規格等（ISO/IEC）、日本機械輸出組合のWTO等の国際機関の情報及びEPA、FTA及びTPPなどの貿易協定に関する情報、国際連絡会議等で欧米及びアジアの情報を収集し会員へ提供した。

a) た。

③ 工業用ミシン会員の意見交換及び情報交換を目的に、市場対策第二委員会において下記の「経済連携協定（EPA） 特恵関税活用セミナー」を開催し、参加者は事務局を含め 9名であった。

日 時：平成29年2月14日（火） 14：00～16：00

場 所：航空会館

講 師：日本貿易振興機構（ジェトロ） 海外調査部 上席主任調査研究員 長島 忠之 氏

#### 6) 標準化の推進に関する事業

##### (1) 国内規格（JIS規格等）について

①「JIS B 9960-31（機械類の安全性—機械の電気装置—第31部：縫製機械、縫製ユニット及び縫製システムの安全性とEMCに対する要求事項）」の改訂については、規格内容へのコメント対応、解説作成を実施した。また、電気用品安全法の技術基準体系等の見直しに関して、「JIS C 9335-2-28（家庭用及びこれに類する電気機器の安全性—第2-28部：ミシンの個別要求事項）について、改正原案を検討した。

②関連団体との交流を図り、規格に関する情報の収集を行い、随時、会員企業へ提供した。

##### (2) 国際規格（ISO/IEC規格等）について

①国際標準化協議会及び一般社団法人日本機械工業連合会との交流を図り、機械安全（IEC/TC44）に当業界の専門家が参加し国際規格等の情報収集を行った。

#### 7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

##### (1) 労働力の確保に関する事業について

業界全般の労務状況について意見交換を行った。

##### (2) PL対策について

損害保険会社と団体PL保険契約を締結し対応した。

### 3. 会 員

#### 1) 会員の異動

平成28年12月1日付で正会員1社が退会した。

#### 2) 会員数

	正会員	賛助会員	合 計
平成28年9月30日現在	36社	5社1団体	42社・団体
退 会	1社		
平成29年3月31日現在	35社	5社1団体	41社・団体